

II 環境基準点等の調査

1. 調査目的

この調査は、川の水質、川底、底生動物を調査することにより、それぞれの評価点（値）を求め、「水環境の快適さ」を評価しようとするものである。この調査では川の水環境を構成する最も基本的な要素である地形と背景（土地利用状況）を評価の基礎としている。この底生動物による川の水環境調査は、環境基準点等で平成2年度から毎年実施している。

2. 調査方法

1) 調査期間

平成21年10月16日～平成21年10月30日：底生動物採取など

平成21年10月31日～平成22年3月25日：分類（同定）、取りまとめ

2) 調査地点

調査地点は、図Ⅱ－1に示す県内河川の主要な環境基準点など35地点であり、各調査地点の環境基準の種類は表Ⅱ－1に示すとおりである。

3) 調査方法

「川の水環境・調査のてびき」（平成16年3月発行、熊本県環境生活部環境保全課）に基づき実施した。なお、底生動物の採取は、D型フレームネット（網目：約1.0mm）を用いて、水深約10～30cmの瀬においてキック・スイープ法により行った。

4) 調査結果の評価

「川の水環境・調査のてびき」に従い、調査した35地点の評価基礎点、水質評価点、川底評価点及び底生動物による川の水環境評価値（以下、「生物評価値」とする。）をそれぞれ求めて調査結果を評価した。

ここで、評価基礎点は「川の地形」と「川の背景（土地利用状況）」を、水質評価点はパックテストを用いた簡易測定によるpH及びCOD、透視度、水の色及びにおいを、川底評価点は川底の石の状態、大きさ、堆積物の種類、付着藻類の色及び量をそれぞれ数値化したものである。また、生物評価値は25種類の指標生物種による水環境評価値である。

3. 調査結果の概要

調査した35地点の評価基礎点、水質評価点、川底評価点及び生物評価値をそれぞれ表Ⅱ－1に示す。

評価基礎点は調査地点における「川の地形」及び「川の背景（土地利用状況）」を数値化したものであり、調査地点近辺における人為的な活動の度合いを表したものである。この評価基礎点と他の評価項目（水質・川底・生物の各評価点）を比較することによって、川の水環境を評価することが可能になる。例えば、ある調査地点において評価基礎点と比較して生物評価値が良好だった場合、その調査地点における人為的活動の度合いに対して、底生動物の生息環境が良好であったといえる。ただし、表Ⅱ－2に示されるように、評価基礎点と環境

基準の類型は必ずしも一致しない。これは、環境基準の類型あてはめが目標値として維持することが望ましい水質の基準として設定されていることに対して、本調査における評価基礎点ではあくまで底生動物の生息環境に対する指標として設定されているためである。今回の調査において評価基礎点をまとめると、「Ⅰ：快適な水環境」が維持されるべき地点は5地点、「Ⅱ：親しめる水環境」が維持されるべき地点は7地点、「Ⅲ：不快を感じない水環境」が維持されるべき地点は5地点、「Ⅳ：多少不快な水環境」になりうる地点は10地点、「Ⅴ：不快な水環境」になりうる地点は8地点と判断できた。

表. Ⅱ-2 水環境の評価基礎点と環境基準の類型との比較

水環境の評価基礎点	環境基準（昭和46年環境庁告示第59号）				
	AA類型	A類型	B類型	C類型	D類型
Ⅰ：快適な水環境	5地点	4地点	1地点		
Ⅱ：親しめる水環境	7地点	2地点	5地点		
Ⅲ：不快を感じない水環境	5地点	1地点	4地点		
Ⅳ：多少不快な水環境	10地点		10地点		
Ⅴ：不快な水環境	8地点		7地点		1地点
計	7地点	27地点			1地点

各調査地点の評価基礎点による評価と水質評価点、川底評価点及び生物評価値との関係を表Ⅱ-3に示す。

水質評価点は「Ⅰ：快適な水環境」と判断した地点が30地点あり、評価基礎点と比較して良好な結果が得られた。

川底評価点は付着藻類の状況を勘案した評価であり、底生動物の出現種や群集構造に影響を与える主要な要素である。川底評価点は大多数の調査地点において「Ⅱ：親しめる水環境」（11地点）または「Ⅲ：不快を感じない水環境」（20地点）と判断された。評価基礎点において「Ⅱ：親しめる水環境」（7地点）が維持されるべきとされた地点について、5地点で川底評価点が評価基礎点より劣っているという結果になった。その一方で、評価基礎点により「Ⅳ：多少不快な水環境」（10地点）、「Ⅴ：不快な水環境」（8地点）と判断された地点については、全地点で川底評価点が評価基礎点よりも良好であるという結果になった。

生物評価値により、「Ⅰ：快適な水環境」に相当すると判断されたのは8地点、「Ⅱ：親しめる水環境」は12地点、「Ⅲ：不快を感じない水環境」は15地点、また「Ⅳ：多少不快な水環境」、「Ⅴ：不快な水環境」はともに0地点であった。

生物評価値は川の水環境の状況を総合的に判断できるものと考えられている。今年度の生物評価値は表Ⅱ-1に示すように、例年どおり多くの調査地点で評価基礎点よりも良い結果が得られている。これは、多くの地点で良好な水環境が保たれている結果である。

表. II-3 評価基礎点に対する水質評価点、川底評価点及び生物評価値

評価基礎点	地点数	水質評価点					川底評価点					生物評価値				
		I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V
I:快適な水環境	5	5					3	1	1			5				
II:親しめる水環境	7	6	1					2	5			2	2	3		
III:不快を感じない水環境	5	4		1				3	2			1	2	2		
IV:多少不快な水環境	10	9	1					5	5				4	6		
V:不快な水環境	8	6	1	1					7	1			4	4		
計	35	30	3	2	0	0	3	11	20	1	0	8	12	15	0	0

【評価値】 I:快適な水環境
IV:多少不快な水環境

II:親しめる水環境
V:不快な水環境

III:不快を感じない水環境

今年度の調査で生物評価値から見て最も良好な水環境「I:快適な水環境」と判断できたのは杖立(筑後川), 念仏橋(菊池川), 木庭橋(菊池川), 妙見橋(白川), 津留橋(緑川), 古屋敷(球磨川), 藤田(川辺川), 白岩戸(氷川)の8地点であった。前回と同様、今回も渓流域だけでなく山間流域でも「I:快適な水環境」に属する地点がみられた。念仏橋, 古屋敷は平成2年度の調査開始以来20年連続して生物評価値が「I:快適な水環境」の状態を保っている。「I:快適な水環境」以外の地点でも杉本橋(関川), 草積橋(亀川)などで「I:快適な水環境」に属する指標生物の出現種数が, ここ数年増加傾向にあり, 水環境の改善が進んでいるとみられる。一方, 合志川の芦原(A類型)については, 水質環境項目を満足するものの, 「I:快適な水環境」に属する指標生物が平成6年から平成21年まで16年連続でみられなかった。

生物評価値から見て「IV:多少不快な水環境」, 「V:不快な水環境」を示した地点は平成15年度以降現れていない。特に坪井川合流前(堀川)については, 平成2年度の調査開始以来「V:不快な水環境」の指標種であるセスジユスリカが優占種として出現していたが, 平成10年度からは「III:不快を感じない水環境」の指標種であるコカゲロウ類及びユスリカ類(白・緑)が優占種となっており, 生物評価値も平成13年度以降, 「III:不快を感じない水環境」の状態を維持している。

今年度の調査では, 指標生物のうち, コカゲロウ類(30.6%), ユスリカ類(17.7%), コガタシマトビケラ(15.6%)が高い出現割合を示した。特に, タニガワカゲロウ類, コカゲロウ類, ユスリカ類は32地点で, コガタシマトビケラは29地点で出現し, この4種類で全体の約7割を占めており, タニガワカゲロウ類は7地点, コカゲロウ類は9地点, ユスリカ類は6地点, コガタシマトビケラ類は6地点で優占種となった。また, 「V:不快な水環境」に属する指標生物(サカマキガイ, イトミミズ類, セスジユスリカ, ホシチョウバエ)は今年度の調査ではみられなかった。

○調査地点

- R 1 : 菊池川
 R 2 : 白 川
 R 3 : 緑 川
 R 4 : 球磨川



- | | | | |
|-------------|-----------------|----------------|-----------------|
| 1. 杖立(筑後川) | 10. 堀川合流前 (坪井川) | 19. 古屋敷 (球磨川) | 28. 柵橋 (佐敷川) |
| 2. 杉本橋(関川) | 11. 坪井川合流前 (堀川) | 20. 中鶴橋 (球磨川) | 29. 広瀬橋 (湯の浦川) |
| 3. 助丸橋(関川) | 12. 山王橋 (井芹川) | 21. 西瀬橋 (球磨川) | 30. 長野橋 (水俣川) |
| 4. 念仏橋(菊池川) | 13. 妙見橋 (白川) | 22. 坂本橋 (球磨川) | 31. 倉江橋 (教良木川) |
| 5. 木庭橋(菊池川) | 14. 吉原橋 (白川) | 23. 横石 (球磨川) | 32. 海老宇土橋 (亀川) |
| 6. 中富(菊池川) | 15. 小嵐山堰 (黒川) | 24. 藤田 (川辺川) | 33. 草積橋 (亀川) |
| 7. 白石(菊池川) | 16. 津留橋 (緑川) | 25. 川辺大橋 (川辺川) | 34. 法泉寺橋 (広瀬川) |
| 8. 高田橋(迫間川) | 17. 乙女橋 (緑川) | 26. 白岩戸 (氷川) | 35. 一町田橋 (一町田川) |
| 9. 芦原(合志川) | 18. 五庵橋 (御船川) | 27. 立神峡 (氷川) | |

図Ⅱ-1 調査地点略図

表Ⅱ-1 環境基準点等の川の水環境調査結果

St.	調査河川名	調査地点名	環境基準	評価基礎点	水質評価点	川底評価点	生物評価値
1	筑後川	杖立	AA	1.5 II	1.0 I	1.8 III	> I
2	関川	杉本橋	A	2.5 IV	1.0 I	2.0 III	> III
3		助丸橋	A	2.5 IV	1.0 I	2.2 III	> III
4	菊池川	念仏橋	AA	1.0 I	1.0 I	1.8 III	= I
5		木庭橋	AA	1.5 II	1.0 I	1.8 III	> I
6		中富	A	2.5 IV	1.0 I	2.0 III	> II
7		白石	A	3.0 V	1.0 I	1.8 III	> II
8	迫間川	高田橋	A	2.5 IV	1.0 I	2.2 III	> II
9	合志川	芦原	A	2.5 IV	1.0 I	1.6 II	> III
10	坪井川	堀川合流前	A	3.0 V	1.0 I	2.4 IV	> III
11	堀川	坪井川合流前	D	3.0 V	1.6 II	2.0 III	> III
12	井芹川	山王橋	A	3.0 V	1.0 I	1.8 III	> III
13	白川	妙見橋	AA	2.0 III	1.8 III	1.4 II	> I
14		吉原橋	A	2.5 IV	1.6 II	1.6 II	> III
15	黒川	小嵐山堰	A	1.5 II	1.0 I	1.4 II	< III
16	緑川	津留橋	AA	1.0 I	1.0 I	1.0 I	= I
17		乙女橋	A	3.0 V	1.0 I	1.8 III	> II
18	御船川	五庵橋	A	3.0 V	1.0 I	2.0 III	> II
19	球磨川	古屋敷	AA	1.0 I	1.0 I	1.0 I	= I
20		中鶴橋	A	2.5 IV	1.0 I	2.2 III	> III
21		西瀬橋	A	3.0 V	1.0 I	2.2 III	> II
22		坂本橋	A	2.0 III	1.0 I	1.4 II	= III
23		横石	A	2.0 III	1.0 I	2.2 III	> II
24	川辺川	藤田	AA	1.0 I	1.0 I	1.0 I	= I
25		川辺大橋	A	2.0 III	1.0 I	1.6 II	> II
26	氷川	白岩戸	A	1.0 I	1.0 I	1.2 II	= I
27		立神峡	A	1.5 II	1.4 II	1.6 II	= II
28	佐敷川	柁橋	A	2.5 IV	1.0 I	1.4 II	> II
29	湯の浦川	広瀬橋	A	2.5 IV	1.0 I	1.4 II	> III
30	水俣川	長野橋	A	2.5 IV	1.0 I	1.6 II	> II
31	教良木川	倉江橋	A	1.5 II	1.0 I	1.8 III	< III
32	亀川	海老宇土橋	A	1.5 II	1.0 I	1.8 III	= II
33		草積橋	A	1.5 II	1.0 I	2.2 III	< III
34	広瀬川	法泉寺橋	A	3.0 V	1.8 III	2.2 III	> III
35	一町田川	一町田橋	A	2.0 III	1.0 I	2.0 III	= III

注) > : 評価基礎点よりも良好な評価値 < : 評価基礎点よりも劣る評価値
 = : 評価基礎点と同等の評価値

[評価値] I : 快適な水環境 II : 親しめる水環境 III : 不快を感じない水環境
 IV : 多少不快な水環境 V : 不快な水環境

表Ⅱ-4 水環境指標生物の出現状況

地点番号 No. 指標生物名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1 カワゲラ類	6	8		3	4	1		3					1			13	5	3	15
2 ナガレトビケラ類				1									2	1	1			1	1
3 ヒゲナガカワトビケラ類	1			1	6									6	7	10	6		10
4 チラカゲロウ																2	2		
5 携巢性トビケラ類	4	1		1	1	2	1	1				5	9	2	7	35	1	1	11
6 ニッポンヨコエビ・サワガニ	1	1											1						
7 ヒラタカゲロウ類	12			16	8	2	1	3			1		40	30	25	27	19	29	30
8 ウズムシ類(プラナリア)	1					1	1					2		1	1		2		
9 ヘビトンボ類																2			2
10 マダラカゲロウ類	8	6	10	46		27	17	5		1	1		3	8	17	2	32	10	4
11 タニガワカゲロウ類	32	1	3	2	21	13	7	85	6		2			27	13	1	10	4	8
12 ブユ類・ガガンボ類	7	3	4		12	347	5	4	16	2		66	20	2	189	6	1	291	1
13 カワニナ																			
14 ヒラタドロムシ類	4	12	3		8	10		18						2			1	2	3
15 コカゲロウ類	26	17	101	208	2	158	324	64	455	39	45	34	520	50	238	3	87	68	64
16 コガタシマトビケラ	35	182	82	2		181	289	3	65	3	5	8	5	6	9	14	174	1	
17 ユスリカ類(白・緑)		3	135	152	17	153	79	30	182	413	121	143	11	35	22		3	5	11
18 貝類		2								5									
19 サホコカゲロウ										20									
20 ミズムシ(等脚目)							4			2	26	59			4				
21 ヒル類			2						4	2	8	1							
22 サカマキガイ																			
23 イトミズ類																			
24 セスジユスリカ(赤)																			
25 ホシチョウバエ																			
出現指標種数	12	11	8	10	9	11	10	10	6	9	8	8	10	12	12	11	13	11	12
個体数	137	236	340	432	79	895	728	216	728	487	209	318	612	170	533	115	343	415	160
生物評価値	I	Ⅲ	Ⅲ	I	I	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	I	Ⅲ	Ⅲ	I	Ⅱ	Ⅱ	I
多様性指数 (H')	2.87	1.40	1.93	1.74	2.78	2.25	1.72	2.27	1.45	0.91	1.75	2.09	0.96	2.71	2.09	2.77	2.11	1.48	2.71

生物評価値 I: 快適な水環境、II: 親しめる水環境、III: 不快を感じない水環境、IV: 多少不快な水環境、V: 不快な水環境
 多様性指数 $H' = -\sum (ni/N) \log_2 (ni/N)$ (ni: 個々の指標種の個体数 N: 総個体数)

表Ⅱ-4 水環境指標生物の出現状況

No. 指標生物名	地点番号																	計	割合 (%)
	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35			
1 カワゲラ類	1	7	1	2	21		8		4			1		4		1	112	1.1	
2 ナガレトビケラ類		1												1			9	0.1	
3 ヒゲナガカワトビケラ類		2	1		12	13	3	1									79	0.8	
4 チラカゲロウ						1	7		1					1	1	1	16	0.2	
5 携巢性トビケラ類	3	1	3		5	1	4						2				101	1.0	
6 ニッポンヨコエビ・サワガニ																1	4	0.0	
7 ヒラタカゲロウ類		2			54	9	53	29	46				25	4		34	499	5.1	
8 ウズムシ類(プラナリア)			17											1			27	0.3	
9 ヘビトンボ類					3		1	1									9	0.1	
10 マダラカゲロウ類		14	39	2	1	9	4	21	2				1	12	4	6	312	3.2	
11 タニガワカゲロウ類	2	18	13	102	25	2	1	99	47	11	29	9	118	74	8	9	802	8.1	
12 ブユ類・ガガンボ類	3	1	2		3	6	2	3	8				2	3		19	1028	10.4	
13 カワニナ																	0	0.0	
14 ヒラタドロムシ類	14	86	47	1	1			3	2		2	2	4	7		5	237	2.4	
15 コカゲロウ類		19	114		52	42	76	35	10	2		2	54	48	12	51	3020	30.6	
16 コガタシマトビケラ		56	23	1		59	2	16	16	10			5	140	12	140	1544	15.6	
17 ユスリカ類(白・緑)	31	8	23	4	6	22	8	5	1	4		4	1	20	72	22	1746	17.7	
18 貝類			4								132	10	23	11	1	13	201	2.0	
19 サホコカゲロウ																	20	0.2	
20 ミズムシ(等脚目)	1													1			97	1.0	
21 ヒル類																	17	0.2	
22 サカマキガイ																	0	0.0	
23 イトミミズ類																	0	0.0	
24 セスジユスリカ(赤)																	0	0.0	
25 ホシチョウバエ																	0	0.0	
出現指標種数	7	12	12	6	11	10	12	10	10	5	3	6	10	14	6	12	20		
個体数	55	215	287	112	183	164	169	213	137	159	41	41	223	317	109	302	9880	100.0	
生物評価値	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ			
多様性指数 (H')	1.81	2.47	2.64	0.62	2.62	2.51	2.25	2.32	2.37	0.95	1.06	1.83	1.97	2.33	1.61	2.47			

生物評価値 Ⅰ:快適な水環境、Ⅱ:親しめる水環境、Ⅲ:不快を感じない水環境、Ⅳ:多少不快な水環境、Ⅴ:不快な水環境
 多様性指数 $H' = -\sum (ni/N) \log_2(ni/N)$ (ni:個々の指標種の個体数 N:総個体数)

川の水環境調査記録用紙

No. 1

調査河川名	筑後川 (水系)		
調査地点名	杖立		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月29日	調査時間	15:50
調査日天候	晴れ	気温	18.0℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	11.0℃	pH (パックテスト)	7.5
透視度	>100 cm	COD (パックテスト)	< 5 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	(早瀬) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			●		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	4	3		
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	5	4	4		
底生動物による 川の水環境評価の判定		I. 快適な水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 2

調査河川名	関川 (水系)		
調査地点名	杉本橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月23日	調査時間	12:30
調査日天候	晴れ	気温	24.5 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	18.5 °C	pH (パックテスト)	7.5
透視度	>100 cm	COD (パックテスト)	2 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (3) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	(1) すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い (3) マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			●		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	3	3	4	1	
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	3	3	5	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 3

調査河川名	関川 (水系)		
調査地点名	助丸橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月23日	調査時間	11:38
調査日天候	晴れ	気温	22.0℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	17.6℃	pH (パックテスト)	7.5
透視度	>100 cm	COD (パックテスト)	2 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (3) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない (2) 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			●		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				○	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		3	4	1	
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計		3	5	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 4

調査河川名	菊池川 (水系)		
調査地点名	念仏橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月29日	調査時間	14:15
調査日天候	晴れ	気温	17.5℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	①. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域		
B. 川の背景	①. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地		
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.0 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	①. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	①. 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	15.5℃	pH (パックテスト)	7.0
透視度	>100 cm	COD (パックテスト)	< 5 mg/L
c. 透視度	①. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	①. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	①. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③. 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③. 沈み石
g. 石の大きさ	①. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ②. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 ②. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	①. 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			●		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	2	3		
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	5	2	4		
底生動物による川の水環境評価の判定		I. 快適な水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 5

調査河川名	菊池川 (水系)		
調査地点名	木庭橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月29日	調査時間	13:25
調査日天候	晴れ	気温	25.1℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 1.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	16.5℃	pH (パックテスト)	7.5
透視度	>100 cm	COD (パックテスト)	< 5 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (2) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	(1) すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない (2) 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.8 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	2	3		
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	4	3	3		
底生動物による川の水環境評価の判定		I. 快適な水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 6

調査河川名	菊池川 (水系)		
調査地点名	中富		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月29日	調査時間	11:37
調査日天候	晴れ	気温	25.0℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	19.5℃	pH (パックテスト)	7.0
透視度	>100 cm	COD (パックテスト)	< 5 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (平瀬)
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 (2) 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		●			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	3	4	4		
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	3	5	4		
底生動物による 川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 7

調査河川名	菊池川 (水系)		
調査地点名	白石堰		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月23日	調査時間	13:10
調査日天候	晴れ	気温	25.2℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 (3) 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 3.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相(微褐色)		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	19.7℃	pH (パックテスト)	8.0
透視度	>100 cm	COD(パックテスト)	3 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (平瀬)
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	(1) すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない (2) 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.8 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			●		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	4	3	1	
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	2	4	4	1	
底生動物による 川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 8

調査河川名	迫間川 (水系 菊池川)		
調査地点名	高田橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月29日	調査時間	12:14
調査日天候	晴れ	気温	23.0℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	22.0℃	pH (パックテスト)	7.0
透視度	>100 cm	COD (パックテスト)	< 5 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (3) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない (2) 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	3	3	4		
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	3	4	4		
底生動物による 川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 9

調査河川名	合志川 (水系 菊池川)		
調査地点名	芦原		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月29日	調査時間	11:03
調査日天候	晴れ	気温	22.5℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相(淡黄色)		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い(微こけ臭)		
水温	20.5℃	pH (パックテスト)	8.0
透視度	> 100 cm	COD(パックテスト)	< 5 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	(早瀬) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	(1) なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			●		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				○	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		2	3	1	
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計		2	4	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 10

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	堀川合流前		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月16日	調査時間	11:05
調査日天候	晴れ	気温	22.0℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 (3) 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	19.0℃	pH (パックテスト)	8.5
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	3 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (3) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 (3) 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い (3) マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.4 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			●		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類				○	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		2	3	4	
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計		2	4	4	
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 11

調査河川名	堀川 (水系 坪井川)		
調査地点名	坪井川合流前		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月16日	調査時間	11:23
調査日天候	晴れ	気温	22.0 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 (3) 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	1. 無色 (2) 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のおいしさ	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	20.2 °C	pH (パックテスト)	7.8
透視度	48 cm	COD (パックテスト)	3mg/L
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 (3) 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.6 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (3) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 (3) 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			●		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類				○	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	2	3	2	
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	1	2	4	2	
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 12

調査河川名	井芹川 (水系 坪井川)		
調査地点名	山王橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月16日	調査時間	12:15
調査日天候	晴れ	気温	25.0 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 (3) 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	20.2 °C	pH (パックテスト)	7.8
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	4 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (3) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			●		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
不快な水環境 (V)	21. ヒル類				○	
	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	2	3	2	
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	1	2	4	2	
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 13

調査河川名	白川 (水系)		
調査地点名	妙見橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月30日	調査時間	11:35
調査日天候	晴れ	気温	26.5 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 (3) 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	17.5 °C	pH (パックテスト)	7.5
透視度	45 cm	COD (パックテスト)	1.5 mg/L
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 (3) 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.8 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	(早瀬) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	(1) すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	(1) なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.4 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			●		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	2	3		
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	5	2	4		
底生動物による 川の水環境評価の判定		I. 快適な水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 14

調査河川名	白川 (水系)		
調査地点名	吉原橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月30日	調査時間	14:20
調査日天候	曇り	気温	24.5 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	1. 無色 (2) 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	18.7 °C	pH (パックテスト)	8.0
透視度	87 cm	COD (パックテスト)	> 5.0 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	1. 5.0mg/L未満 (3) 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.6 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (平瀬)
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない (2) 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			●		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	4	4		
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	4	4	5		
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 15

調査河川名	黒川 (水系 白川)		
調査地点名	小嵐山堰		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月30日	調査時間	10:05
調査日天候	晴れ	気温	20.5℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	15.1℃	pH (パックテスト)	7.0
透視度	>100 cm	COD (パックテスト)	< 5.0 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (平瀬)
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	(1) なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.4 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			●		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	4	3	1	
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	4	4	4	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 16

調査河川名	緑川 (水系)		
調査地点名	津留橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月22日	調査時間	12:10
調査日天候	晴れ	気温	17.2 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	①. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域		
B. 川の背景	①. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地		
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.0 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	①. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	①. 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	14.2 °C	pH (パックテスト)	8.2
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	2 mg/L
c. 透視度	①. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	①. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	①. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	①. 早瀬 平瀬		
f. 石の状態	①. 浮き石 3. 沈み石		
g. 石の大きさ	①. すいか 2. メロン 3. みかん		
h. 堆積物の種類	①. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)		
i. 付着藻類色	①. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色		
j. 付着藻類量	①. 少ない 2. 多い 3. マット状		
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.0 点			

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	●				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	4	2		
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	6	4	2		
底生動物による 川の水環境評価の判定		I. 快適な水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 17

調査河川名	緑川 (水系)		
調査地点名	乙女橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月22日	調査時間	14:00
調査日天候	曇り	気温	26.0 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 (3) 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	20.7 °C	pH (パックテスト)	7.2
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	3 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (平瀬)
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			●		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	4	4		
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	5	4	5		
底生動物による 川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 18

調査河川名	御船川 (水系 緑川)		
調査地点名	五庵橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月22日	調査時間	13:30
調査日天候	晴れ	気温	24.3 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 (3) 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	18.3 °C	pH (パックテスト)	8.5
透視度	> 80 cm	COD (パックテスト)	3 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (3) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		●			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	3	4		
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	4	4	4		
底生動物による川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 19

調査河川名	球磨川 (水系)		
調査地点名	古屋敷		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月19日	調査時間	14:50
調査日天候	晴れ	気温	19.0℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	①. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域		
B. 川の背景	①. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地		
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.0 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	①. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	①. 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	14.8℃	pH (パックテスト)	7.5
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	2 mg/L
c. 透視度	①. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	①. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	①. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	①. 早瀬 平瀬		
f. 石の状態	①. 浮き石 3. 沈み石		
g. 石の大きさ	①. すいか 2. メロン 3. みかん		
h. 堆積物の種類	①. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)		
i. 付着藻類色	①. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色		
j. 付着藻類量	①. 少ない 2. 多い 3. マット状		
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.0 点			

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			●		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	4	3		
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	5	4	4		
底生動物による 川の水環境評価の判定		I. 快適な水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 20

調査河川名	球磨川 (水系)		
調査地点名	中鶴橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月19日	調査時間	15:45
調査日天候	晴れ	気温	24.0℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	23.0℃	pH (パックテスト)	7.7
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	3 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (3) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない (2) 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)			●		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	2	2	1	
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	2	2	3	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 21

調査河川名	球磨川 (水系)		
調査地点名	西瀬橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月20日	調査時間	9:00
調査日天候	曇り	気温	20.0 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 (3) 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	13.2 °C	pH (パックテスト)	7.0
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	4 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (平瀬)
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない (2) 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			●		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	3	4		
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	5	3	5		
底生動物による川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 22

調査河川名	球磨川 (水系)		
調査地点名	坂本橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月20日	調査時間	10:10
調査日天候	曇り	気温	20.0 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	19.1 °C	pH (パックテスト)	7.8
透視度	>100 cm	COD (パックテスト)	3 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	(2) 早瀬 平瀬
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.4 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			●		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	3	4	4	1	
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	3	4	5	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 23

調査河川名	球磨川 (水系)		
調査地点名	横石		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月20日	調査時間	10:50
調査日天候	晴れ	気温	18.5 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相(微茶色)		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	19.5 °C	pH (パックテスト)	7.5
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	4 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (2) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない (2) 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	2	3		
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	1	3	3		
底生動物による川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 24

調査河川名	川辺川 (水系 球磨川)		
調査地点名	藤田		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月19日	調査時間	13:05
調査日天候	晴れ	気温	24.0 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	①. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域		
B. 川の背景	①. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地		
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.0 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	①. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	①. 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	17.6 °C	pH (パックテスト)	8.3
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	2 mg/L
c. 透視度	①. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	①. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	①. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	①. 早瀬 平瀬		
f. 石の状態	①. 浮き石 3. 沈み石		
g. 石の大きさ	①. すいか 2. メロン 3. みかん		
h. 堆積物の種類	①. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)		
i. 付着藻類色	①. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色		
j. 付着藻類量	①. 少ない 2. 多い 3. マット状		
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.0 点			

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	22. サカマキガイ					
不快な水環境 (V)	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	4	3		
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	5	4	3		
底生動物による 川の水環境評価の判定		I. 快適な水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 25

調査河川名	川辺川 (水系 球磨川)		
調査地点名	川辺大橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月19日	調査時間	13:35
調査日天候	晴れ	気温	25.2 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	18.5 °C	pH (パックテスト)	8.2
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	3 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (2) 平瀬
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			●		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	3	3		
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	4	3	4		
底生動物による川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 26

調査河川名	氷川 (水系)		
調査地点名	白岩戸		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月19日	調査時間	10:50
調査日天候	晴れ	気温	23.0 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	<input checked="" type="radio"/> 1. 渓流域	<input type="radio"/> 2. 山間流域	<input type="radio"/> 3. 平地流域
B. 川の背景	<input checked="" type="radio"/> 1. 森林	<input type="radio"/> 2. 畑・水田	<input type="radio"/> 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.0 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	<input checked="" type="radio"/> 1. 無色			<input type="radio"/> 2. 緑茶色	<input type="radio"/> 3. 白・灰・黒色
色相()					
b. 水におい	<input checked="" type="radio"/> 1. 無臭			<input type="radio"/> 3. 臭いあり	
臭い()					
水温	16.5 °C	pH (パックテスト)	8.1		
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	3 mg/L		
c. 透視度	<input checked="" type="radio"/> 1. 80cm以上		<input type="radio"/> 2. 60cm以上	<input type="radio"/> 3. 60cm未満	
d. pH	<input checked="" type="radio"/> 1. 6.5~8.5		<input type="radio"/> 3. 6.4以下	<input type="radio"/> 3. 8.6以上	
e. COD	<input checked="" type="radio"/> 1. 5.0mg/L未満		<input type="radio"/> 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点					

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	<input checked="" type="radio"/> 早瀬	<input type="radio"/> 平瀬	
f. 石の状態	<input checked="" type="radio"/> 1. 浮き石		<input type="radio"/> 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか		<input checked="" type="radio"/> 2. メロン
3. みかん			
h. 堆積物の種類	<input checked="" type="radio"/> 1. なし		<input type="radio"/> 2. 砂泥
3. 泥(腐敗)			
i. 付着藻類色	<input checked="" type="radio"/> 1. 茶緑色		<input type="radio"/> 2. 緑色
3. 白灰黒色			
j. 付着藻類量	<input checked="" type="radio"/> 1. 少ない		<input type="radio"/> 2. 多い
3. マット状			
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2 点			

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4.	チラカゲロウ	○				
	5.	携巢性トビケラ類	○				
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類		○			
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドロムシ					
	15.	コカゲロウ類			●		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		5	4	3		
	最も多い種の数(●)				1		
	得点の合計		5	4	4		
底生動物による川の水環境評価の判定			I. 快適な水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 27

調査河川名	氷川 (水系)		
調査地点名	立神峡		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月19日	調査時間	10:10
調査日天候	晴れ	気温	24.2℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	17.6℃	pH (パックテスト)	7.5
透視度	>100 cm	COD (パックテスト)	5 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	1. 5.0mg/L未満 (3) 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	(早瀬) 平瀬
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない (2) 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
25. ホシチョウバエ						
得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	4	4		
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	2	5	4		
底生動物による川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 28

調査河川名	佐敷川 (水系)		
調査地点名	柞橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月27日	調査時間	11:40
調査日天候	晴れ	気温	22.8 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	18.8 °C	pH (パックテスト)	7.8
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	1 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (平瀬)
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.4 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	3	3	4		
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	3	4	4		
底生動物による 川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 29

調査河川名	湯の浦川 (水系)		
調査地点名	広瀬橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月27日	調査時間	12:10
調査日天候	晴れ	気温	21.5 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	19.3 °C	pH (パックテスト)	8.0
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	3 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (平瀬)
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.4 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				●	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		1	3	1	
	最も多い種の数(●)				1	
	得点の合計		1	3	2	
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 30

調査河川名	水俣川 (水系)		
調査地点名	長野橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月27日	調査時間	13:40
調査日天候	晴れ	気温	23.8℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	19.4℃	pH (パックテスト)	7.7
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	1 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (平瀬)
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		1	1	1	
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計		2	1	1	
底生動物による 川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 31

調査河川名	教良木川 (水系)		
調査地点名	倉江橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月28日	調査時間	15:20
調査日天候	晴れ	気温	22.1 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	20.5 °C	pH (パックテスト)	8.0
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	< 5 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (平瀬)
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				●	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	1	3	1	
	最も多い種の数(●)				1	
	得点の合計	1	1	3	2	
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 32

調査河川名	亀川 (水系)		
調査地点名	海老宇土橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月28日	調査時間	11:40
調査日天候	晴れ	気温	18.5 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	15.5 °C	pH (パックテスト)	7.5
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	< 5 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	(早瀬) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	3	4	1	
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	2	4	4	1	
底生動物による 川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 33

調査河川名	亀川 (水系)		
調査地点名	草積橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月28日	調査時間	12:25
調査日天候	晴れ	気温	17.8 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	18.5 °C	pH (パックテスト)	8.3
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	2 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (平瀬)
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない (2) 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			●		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	4	4	2	
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	4	4	5	2	
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 34

調査河川名	広瀬川 (水系)		
調査地点名	法泉寺橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月28日	調査時間	14:10
調査日天候	晴れ	気温	22.8℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 (3) 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	23.0℃	pH (パックテスト)	9.5
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	10 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	(3) 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 (3) 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.8 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (3) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い (3) マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			●		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	2	3		
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	1	2	4		
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 35

調査河川名	一町田川 (水系)		
調査地点名	一町田橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成21年10月28日	調査時間	11:00
調査日天候	晴れ	気温	21.8 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	17.6 °C	pH (パックテスト)	7.5
透視度	> 100 cm	COD (パックテスト)	< 5 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (3) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			●		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	3	4	1	
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	4	3	5	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境				